

【記入要領】

本様式は、無人直接通報を申請する際、通報承認申請書に添付します。

様式第3号（第5条関係）

無人直接通報の移報に係る体制

申請対象物の名称		① 電話 ( )	
自動火災報知設備の送信信号を受信する場所等	所在地	②	
	名称	③ 電話 ( )	
	用途	④	
	出動の手段	⑤ 徒歩 自転車 オートバイ 自動車 その他 ( )	
	距離	⑥ km	
	通報後到着に要する時間	⑦ 分	

かぎの状況	自動解錠装置の有無	⑧ 有 ・ 無
	自動解錠装置の方式	⑨
	内部進入のためのかぎの保有状況	<input type="checkbox"/> 自動火災報知設備の受信機の設置場所までの間 <input type="checkbox"/> すべての居室等 <input type="checkbox"/> その他 ( )

備考 内部侵入のためのかぎの保有状況の欄には、該当する項目の□にレ印を付すこと。

(日本産業規格A列4番)

- ① 通報を実施する防火対象物の正式名称及び電話番号を記入します。
- ② 通報申請対象物の関係者が、自己の居住地または自社を遠隔監視している建物の所在地を記入します。
- ③ ②に所在する建物の正式名称及び電話番号を記入します。
- ④ 用途については、③の用途を記入します。
- ⑤ ⑥との整合性を図り、該当項目を○で囲みます。
- ⑥ 申請対象物から自動火災報知設備の送信信号を受信する場所までの実距離を記入します。徒歩の場合を3 km以内、自転車の場合を6 km以内、オートバイ・自動車の場合を10 km以内を範囲とします。
- ⑦ 送信信号を受信後、建物関係者が現場に駆けつけられる時間を記入します。
- ⑧ 該当項目を○で囲みます。
- ⑨ メーカー仕様の自動解錠装置の機種名及び使用方法について簡記します。